

2016 年 3 月 19 日

プロジェクト報告書

団体名 グループ・モモ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

精神保健福祉ボランティア フォローアップ講座

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

精神障害者の在宅生活を支えるのは専門職だけでは困難で、地域の理解と協力が必要です。地域の方々に理解を得るため、精神障害者に関わるボランティアの養成、継続の支援のために、フォローアップ講座を開く。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

グループ・モモのスタッフから企画のボランティアを募集する。企画メンバーが決まったら講座の内容について話し合いを進める。講師と打ち合わせをして、内容をさらに練り上げる。広報活動をして、参加者を募集する。フォローアップ講座を実施。講座の内容は、講演と、講師を交えたグループワーク、加えて昭島市内のボランティア団体の紹介を行った。その際にアンケートを行い、ふりかえりをし、次回につなげる。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

○ ボランティアを行っている企画メンバーからの講座内容についての要望を最大限に生かしたので、一般市民にとっても親しみやすい内容にすることができました。

○市の広報誌にPR分を掲載し、講座の参加者を広く募った。

○講師・スタッフを含めた参加者は39名で、「当事者から直接話をきけることがよかった。」「発表は心に訴える強いものがあった。」「これから前向きに強く生きていこうと思いました。」等、好評であった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

当事者である講師4名が、明るく、誠実に自分自身の体験を語ってくださったので、参加者が当事者の生の声を聞き、精神障害者の現状を知ってもらえたし、貴重な体験だったとの感想もあり、前向きにかかわろうと言う気持ちになってもらえたと思われまます。

アンケートから、参加者はボランティア・学生・家族・当事者・等様々でしたが、それぞれの立場で支援に必要なことを理解してもらえたと思われまます。参加者のうち9名が次回のお知らせのためにアンケートに名前を記入してくれたことで、何らかの形でつぎの活動に繋がっていくことができそうです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



精神障害者の地域生活を
当事者による退院支援
～精神障害者の歴史～

精神障がい者の地域生活を
～当事者による退院支援

「精神障がい者の地域生活をサポートするために」

～当事者による退院支援活動から学ぶ～

当事者の方々は今、地域生活のこんなことで戸惑っています。

退院後は、こんな支援を受けて生活しています。

当事者の方が、困っている当事者の方をこんな風にサポートしています。

などなど、当事者の皆さんから直接お話を聞いて、交流しましょう。誰もが安心して住め誰もが住みよい街づくりのために、私たちにできること、探してみませんか？

《プログラム》

第1部（講演）

- ① 精神障がいの歴史と今
- ② ライフパートナーの活動紹介
- ③ 病気と付き合いながら地域で生活するということ

第2部 感想や質問など、小グループで話し合しましょう

ゲストの紹介

国分寺市地域生活支援センター プラッツ
ライフパートナーのみなさんは
当事者の立場で、精神科病院を訪問して
入院患者さんの退院支援活動をしています



☆2016年2月13日（土）開始14：00 終了16：30ごろ

☆あいぽっく4階講習室・休養室

☆主催：グループモモ

☆後援：昭島市社会福祉協議会

☆申し込み・問い合わせ：NPO ACT大きなかぶTEL 042-545-0890

FAX 042-519-5891

※申し込み締め切り 2016年2月6日（土） 真如苑助成事業